



2021年1月4日

各位

## 新年のご挨拶

皆様、明けましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルスの大流行により、人々の生活のあらゆる場面において混乱が生じ、世界レベルで歴史上激動の1年となりました。混沌とした状況下、当社グループは製薬会社として、世界中の患者の皆様へ、新しい治療と医薬品を供給できたことを大変誇りに思います。

中国において、当社グループの主力医薬品であるアイスーリュイは、特発性肺線維症治療薬として市場で広く受け入れられております。また、アイスーリュイが新型コロナウイルス感染症の診断および治療方針として推奨されたことを受け、その支援のために当社子会社である北京コンチネント薬業有限公司は、中国において新型コロナウイルスの影響が最も深刻化している時期に、中国武漢市の病院等へアイスーリュイの提供を行いました。

米国における医療機器事業は、新型コロナウイルス感染症拡大により、多くの医療機関で医療活動に制限がかかる中、堅調に推移いたしました。これは過去20年間にわたる当社子会社の製品が築き上げた高品質とその評価によるものであると考えております。また、Cullgen Inc. (Cullgen) の創薬チームは年間を通じてたゆまぬ研究を継続いたしました。Cullgenにおける複数のがん治療プログラムは2021年をスタート年として今後数年の間にIND申請を進めてまいります。

さらに、当社では、財務経理、事業開発、各管理業務を遂行すべく、フィジカルディスタンスの徹底と在宅勤務等を導入し、全従業員の安全面を考慮しつつ作業効率をあげる工夫をしております。

このように、当社はグループ相互で協力し合い、近年にない非常に困難な年ではありましたが大幅な成長を達成することができました。

2021年につきましては、候補薬F351の申請を適切に進めることが当社グループのCEOである私の最大の課題と位置付けております。F351は、中国における第2相臨床試験で肝線維症に対して明確な有効性と安全性を示しており、世界中の肝線維症/肝硬変に苦しむ何百万人もの患者様にとって新しい治療法となる可能性があります。

「患者の皆様になんか希望を届ける」という当社の企業ミッションは、新しい医薬品を開発し続けるということに表されます。

本2021年、当社は設立20周年を迎えることができました。事業計画書の策定からスタートし、太平洋地域全域に500人以上の従業員を擁する企業へと成長いたしました。そして、今後は中期的目標である中規模グローバル製薬企業になることを目指し、線維症とがんの両方において強力な柱となる製品パイプラインをもつべく、グローバルな業務執行チームによる合理的事業推進、モジュール型GMPコンプライアンスに準拠した医薬品製造工場での生産体制の構築、中国及び米国における販売網の開拓に取り組んでまいります。2021年以降も目標へ向け業績の伸長に注力していく所存でございます。引き続き皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年が皆様にとって幸多き年になりますようお願い申し上げます。

取締役代表執行役社長兼 CEO イン・ルオ